

## 理学療法士

3

年目

## スタッフインタビュー

理学療法士 石山和代さん

石山さんは理学療法士養成校を卒業後、2021年4月にあんしんクリニックに入職されました。



Q. あんしんクリニックを選んだ理由は？

A. 学生時代に当院で前十字靭帯損傷の手術、リハビリをしていただいたことがきっかけで、その当時担当していただいた理学療法士の働いている姿や雰囲気がとても印象的だったからです。また、将来スポーツ医療に携わりたいと思っていた自分にとって、整形外科のみという専門的分野でスポーツにも力を入れており、そして自分の目標となった理学療法士の先生とともに働ける機会があるということに魅力を感じ入職しました。



Q. 実際に働いた感想を教えてください！

A. 若年層のスポーツ選手だけでなく、幅広い年齢層で多種多様な疾患に携わることができ毎日学びの連続です。また、スタッフそれぞれのレベルが高く、学校では学べなかった奥深くまで教えていただける環境に日々刺激を受けています。まだ3年目ということもあり、理学療法士としても人としても未熟な部分が多いですが、環境が変わるごとにたくさん学ばせていただいています。

Q. 働いてみて、苦労したことは？

A. 年齢層が幅広く、多くの患者さんに対応しなければならない環境で、一人一人にあったコミュニケーション、治療方法を身に着けることに時間がかかりました。先輩方の豊富な知識・技術を、朝や夕方のミーティングを利用した勉強会で教わるができることに「恵まれた環境」だと日々実感中です。少しずつでもいいので自分からも発信できるように取り組んでいこうと思っています。



Q. 今後チャレンジしたいことや目標は？

A. 目標とする先生のように、どのような疾患・スポーツが来ても対応ができ、患者さん・周囲のスタッフから信頼してもらえようになりたいと思っています。そのために、まず疑問を疑問で終わらせるのではなく、コミュニケーションを大切に、学んだことを関わらせていただいている患者さん、帯同チームの選手・スタッフ、職場のスタッフに自信をもってアウトプットできるように精進していきたいです。そしていつか、学会やボランティアなどの外部での活動につなげられるようにしたいと思います。

